社会福祉法人　ひまわり　広報部発行　杵築市　ひまわり　検　索
0978-52-2233　0978-66-5500　http://www.wel-himawari.net

社会福祉法人ひまわり理念

- 利用者の尊厳を守り、敬愛の精神で接すること
- 地域福祉の拠点となり、開かれた施設として地域に貢献すること

基本方針

- 利用者のあるがままの姿を受入れ、見守り、優しく安らぎのある施設にします
- 利用者の意思を尊重し、利用者の立場で考え、安全で平等な援助に努めます
- 地域の関係機関と連携し、地域福祉の推進と向上を目指します
- 社会で通用する接遇を修得し、利用者に明るく気持ちの良い態度で接します
- 日々向上心を持って、専門機能の研鑽に努めます

在宅生活を支える為に

先月の今誌でお伝えしたとおり4月に開設した介護老人保健施設梅桃は10月より「在宅強化型老人保健施設」として運営しております。これは梅桃に入所され、リハビリに励み、自宅に帰られる方が多い事を認めてもらえた形となります。しかし実際には施設を退所し自宅に帰った後に、その生活をいかにして支えていくのかが重要な課題となります。通所介護（きつきの里デイサービス、三楽園デイサービス）や訪問介護（ひまわりホームヘルパーステーション）、訪問看護（きつき訪問看護ステーション）、短期入所生活介護（瑞雲荘ショートステイ）。また、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や自宅への「訪問」を組合せ在宅生活を支援する看護小規模多機能型施設（ひまわりハウス）。そしてリハビリテーションを通じて日常生活の自立を助ける通所リハビリテーション（リハビリセンター梅桃）また地域のかかりつけ医療機関として衛藤外科が外来診療や訪問診療、往診。通院の送迎も行っております。それでも自宅で過ごす事が困難な状態になれば特別養護老人ホーム瑞雲荘への長期入所もご利用いただけます。それぞれの事業所で地域の皆様の在宅生活を支えるべく医療法人大生会、社会福祉法人ひまわりは力を合せて頑張ってまいります。

梅桃

ようやく秋めいて過ごしやすくなったこの頃、梅桃でも運動会を開催しました。種目は「玉入れ」「ボール廻し」「パン食い競争」の三種目です。紅白のチームに分かれて普段のリハビリの成果を試すべく利用者の皆様と職員が競いました。普段温厚な利用者様も、勝負事となると話しは別。恐ろしい程の気迫で玉を投げ、ボールを廻し、パンを食べていました。少しでも手を抜く職員を見かけると「真剣にせんかえ！負けてしまうで！」と渇が入るほどです。勝負は白熱し、今年は白組が勝利しました。終われば皆様ノーサイド。良い汗をかけたと皆様満足されていました。

瑞雲荘

大運動会

瑞雲荘秋の大運動会が行われ、大田こども園の園児達も参加してくれました。利用者様による選手宣誓から始まり、準備運動、玉入れ、綱引き、応援合戦、風船バレー、飴食い競争が行われました。園児達は玉入れや風船バレーに参加し、応援合戦では可愛いダンスを披露してくれました。利用者様から、「子供は可愛いな」「今年は負けたけど来年は勝つで」等の言葉があり、楽しんでいただけたと思います。大田こども園の皆さんご協力ありがとうございました。

介護福祉士募集

基本給１４５，３００円～資格手当１０，０００円＋勤務地手当５，０００円。夜勤手当４，３００円／１回　その他手当　住宅手当、扶養手当、職務手当他　交通費　３，０００円～２０，０００円　賞与　前年実績　基本給の３．７倍
お問い合わせは０９７８-５２-２２３３
瑞雲荘　重松まで

訪問看護通信

きつき訪問看護ステーション

『長生きホルモン』とは？

健康長寿の秘密は「超善玉ホルモン」です。これは誰でも体の中に持っているホルモンですが生活習慣や環境によってその量に大きく差があると考えられています。「超善玉ホルモン」は糖尿病や動脈硬化などさまざまな生活習慣病の予防効果や老化防止効果があります。長生きの方は血管中にこの量が多い為「長寿ホルモン」とも言われています。このホルモンは血管を広げ、血圧を下げる働きや、傷んだ血管を修復し、動脈硬化を改善し心筋梗塞や脳梗塞の予防・改善等の効果が期待されます。このホルモンを増やすにはウォーキング等の有酸素運動を継続的に行ったり、豆腐・納豆・油揚げ・豆乳・わかめ・のり・ひじき等のマグネシウムを多く含む食品や、緑黄色野菜・杜仲茶・ワイン等を摂取することです。参考にされて下さい。

今宮

編集後記

他人の言い間違い。こんな面白い事はありません。長年、この言い間違いについて研究を重ねてきました。その結果、いい間違いは大きく「呂律が周らない酔っ払い系」と「声が裏返るヨーデル系」、「言葉が組み合わされる理数系」の３つに分けられます。例えば「酔っ払い系」は、以前も紹介しましたが自動販売機の業者さんが私に秋口に言い放った「ホッチョ（ＨＯＴの事？）入りました」という一言。続いて「ヨーデル系」は「い」が「ひ」になることが多いようです。卒業式などの緊張する場面で校長先生が「〇〇君」と呼び、返事をした際に緊張のあまり「はひ！（はい）」と答えてしまったりとかですね。「理数系」は、先日私の長男（９歳）が言うのです。「足の先っちょが痛い」と、「痛いのは指？それとも爪？」と聞くと、さすが私の息子。こうのたまいました。「つび」と。恐らく爪か指かどっちだったか思い出しながら答える中での思考と、早く答えなきゃという気持ちが混ざり、そこに実際にはどっちだったか確信が持てないぞという自信の無さが一瞬の内にミックスされて出た「つめ」と「ゆび」を足して２で割った一言だったのでしょう。ちなみにこのケースですが万が一、そのミックスの仕方を間違えると「ゆめ」になっていた訳で、指か爪かを尋ねてきた父親にいきなり夢について語りだすという微笑ましいエピソードまで後一歩でしたね。まあ、このように言い間違いについて研究を重ねるとある事実に行き着きます。そうその研究が何の役にも立たないという事です。ではまた来月！

高尾

11月の福祉サービス相談委員巡回は11月26日（土）の10時ごろより特別養護老人ホーム瑞雲荘にて綿末相談員が行います。※事前の連絡は必要ございませんのでお気軽にご相談下さい。

毎月二〇日発行　編集責任者　社会福祉法人ひまわり　高尾毅一

三楽園デイサービス

枕カバー作り

利用者様に寄付していただいた生地で枕カバー作りを行いました。和裁の学校を卒業されている方や縫い物をやり慣れている方が多く、職員の慣れない手つきを見ては「そんな縫い方じゃすぐほどけるで～」と、すぐに助け舟を出してくれながら、手早く丁寧に縫っていただきました。ただ、縫えれさえすればいいと思っていた職員にとって、「〇〇縫いをしたらいいで～。」「丁寧にしっかり縫っちょくと、長く気持ちよく使えるじゃろうがえ」と、適格なご指導を頂き、とても勉強になりました。

しかし、職員はほとんど出る幕なく、あっという間に完成しました。

利用者様も、「昔、何でん縫いよったからひとつも苦にならん」「久々に縫い物して楽しかったで」とありがたいお言葉をいただきました。

また宜しくお願いします！！

壁紙制作

今月は、いちょうや、もみじの葉の上に紙を置き、色鉛筆やクレヨンで形を写し取る「フロッタージュ」を用いて壁紙制作を行いました。また、オリジナルで描いた葉や色用紙等も使い、三楽園は、カラフルに色付いた紅葉風景が広がっています。

ひまわりハウス

運動会

体育の日に秋の大運動会を開催しました。借り物競争、パン食い競争、職員によるコーラの早飲みと盛りだくさんの内容です。まずはパン食い競争でしたが大変盛り上がり、「うまく取れんな～」「もうちょっと口を大きく開けて頑張れー」と白熱した戦いになりました。次に借り物競争です。紙に書いてあるお題を職員と利用者様二人一組でクリアしてゴールに戻りま す。最初の組が引いたお題は「お嬢様に変装する」というものでした。他にも「おやじに変装する」や「カツラを被る」等があり、お題をクリアするたびに「あはは！その格好似合っちょるな～」「あぁーおかしいわ～」と、見ている皆様も衣装を着ている本人も大笑い。楽しい雰囲気で終始笑顔でした。その後職員によるコーラの早飲み大会を挟み結果発表となりました。僅差ではありましたが赤組の勝利です。そして、「終わりの言葉」で白組、赤組が両者の健闘を称えあい無事に運動会が終了しました。来年も皆様に楽しんでいただける運動会を開催しますので、ぜひお楽しみに！

きつきの里デイサービス

杵築衆楽観

その日は朝から皆様「いよいよじゃな～」「今日は急いでお風呂に入るで～」とそわそわされていました。理由は杵築衆楽観のお芝居を観に行く日だからです。衆楽観へ到着すると、すでに多くのお客さんで賑わっており、利用者の皆様は「懐かしいな～この雰囲気」「今日はどんな芝居が見られるんやろうか～」と口々に言われていました。お芝居が始まると笑いあり、涙あり、かっこいい立ち回りありで皆様、夢中に見入っておられ、口からは自然と「おぉー」「あはは」と声が出ておられました。しかし楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいました。帰りの車内でも、ひまわりハウスに到着してからも「本当におもしろかったな～」「いや～かっこよかったな～」とお芝居の話が尽きませんでした。今後も皆様に楽しんでいただける行事を考えていきます。

豊洋幼稚園来所

豊洋幼稚園の園児8名が来所してくれました。ひとりひとり自己紹介を大きな声でしてくれ、体操やダンスを元気よく踊ってくれました。次に「どんぐりころころ」「まつぼっくり」の歌や「お寺のお和尚さん」の手遊びを園児と利用者様がペアになり行いました。最後に園児達が利用者様の後ろにまわり肩たたきをしてくれ利用者様はとても笑顔で「えらしいなあー。肩がかるうなったわ」とおっしゃられ、まるで自分の孫やひ孫を見るような笑顔でずっと園児達を見つめておられました。利用者様にはとても心癒される和みの時間となりました。園児の皆さんまた来て下さいね！

吉美会

10月14日（金）に吉美会の皆さんが来て下さり様々な舞踊を披露してくださりました。中でも「壺坂物語」では盲目の沢市と妻のお里の奇跡の物語を三波春夫の浪曲に合わせて見事に演じて下さり利用者様方も職員も心を動かされ見入ってしまいました。「涙が出そうになったわぁ」とおっしゃる方も居られる程でした。しかも、これを演じたお二人の方の年齢が合わせて百七十才という事にも驚かされました。その他「城下町恋唄」「大分空港」などご当地ソングも踊って下さり、皆熱心にご覧になっていました。「着物をみんな着て踊ってくれちゃ、たいした良かった」「また来ちょくれ」と声を掛ける方も居られ大盛況で終わりました。吉美会の皆様どうもありがとうございました。